

特集 アジアにおける資産運用：その魅力と将来性 ー第6回SAAJ国際セミナーよりー

パネルディスカッション

アジアにおける資産運用： その魅力と将来性

《パネリスト》（発言順・敬称略）

《司会》

ピーター・アレクサンダー

堀江 貞之

兒玉 健治 CMA

佐藤 秀樹

（各氏略歴＜パネルディスカッション開催時＞）

ピーター・アレクサンダー（Peter Alexander）

Z-ベン・アドバイザーズ マネージング・ダイレクター。中国資産運用ビジネスに関心のある海外金融機関に対し独立した分析と情報を提供するZ-ベン・アドバイザーズ社のマネージング・ダイレクター。20年以上中国資産運用業界に携わり、2つのジョイントベンチャーの設立に貢献。98年以降、米国を拠点とするネーションワイド・ファイナンシャルの申銀万国証券とのパートナーシップ強化に従事。01年、光大証券とのジョイントベンチャーによる資産運用会社設立のため、プルデンシャル・ファイナンシャルに入社。プルデンシャル時代に、中国の資産運用業に関する独立した調査の必要性の高まりを実感し、その後Z-ベン・アドバイザーズ社を創設。中国語に堪能、上海居住。

兒玉 健治（こだま けんじ）

Tokio Marine Asset Management International Pte. Ltd. CEO。90年東京海上日動火災保険(株) (TMNF) 入社。東京海上アセットマネジメント(株) (TMAM) に出向し、調査業務に従事した後にTMNF香港運用現地法人にてアジア株式運用業務に従事。07年から再びTMAMで経営企画室長等を経て、13年7月より現職。

佐藤 秀樹（さとう ひでき）

インベスコ・アセット・マネジメント(株)代表取締役社長兼CEO。略歴前掲。

堀江 貞之（ほりえ さだゆき）

(株)野村総合研究所 金融ITイノベーション研究部 上席研究員。81年神戸商科大学卒業後、同年野村総合研究所入社。86年「NRI債券パフォーマンス指数」(後、NOMURA-BPIと改称)を開発。86～88年ニューヨーク事務所勤務、オプション・モデル等を開発。96～01年、野村アセットマネジメントでGTAA (Global Tactical Asset Allocation) と通貨オーバーレイファンド、併せて10億ドル以上を運用。過去33年にわたり、証券アナリストジャーナル、企業年金、年金と経済等の専門誌に数多くの論文を発表。GPIF (年金積立金管理運用独立行政法人) 運用委員長代理、大阪経済大学大学院客員教授。